

製品名: PMEPA1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16302**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	37kDa

抗原情報

遺伝子名	PMEPA1
別名	PMEPA1; STAG1; TMEPAI; Transmembrane prostate androgen-induced protein; Solid tumor-associated 1 protein
遺伝子 ID	56937.0
SwissProt ID	Q969W9
免疫原	抗血清はヒト TMEPA 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 101-150

背景

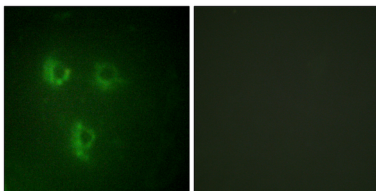
この遺伝子は、Smad 相互作用モチーフ (SIM) を含む膜貫通タンパク質をコードしています。この遺伝子の発現はアンドロゲンおよ

び形質転換成長因子 β によって誘導され、コードされているタンパク質は Smad タンパク質との相互作用を介してアンドロゲン受容体および形質転換成長因子 β シグナル伝達経路を抑制します。この遺伝子の過剰発現は、複数の種類の癌において役割を果たす可能性があります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011 年 12 月],ドメイン: WW 結合モチーフは NEDD4 との相互作用を媒介します。、誘導: アンドロゲンによる。、類似性: PMEPA1 ファミリーに属する。、サブユニット: NEDD4 の WW ドメインと相互作用する。、組織特異性: 前立腺で最も発現が高く、卵巣でも発現します。、

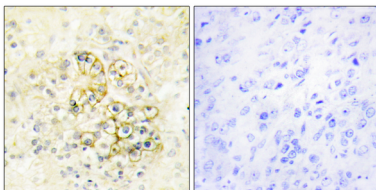
研究分野

シグナル伝達; 成長因子/ホルモン; ホルモン

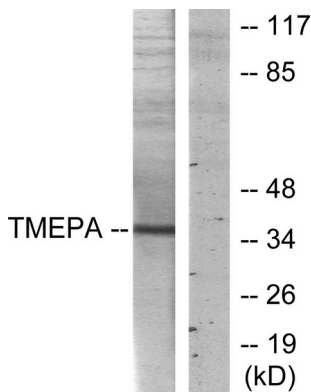
画像データ



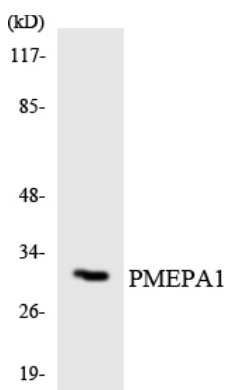
TMEPA 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



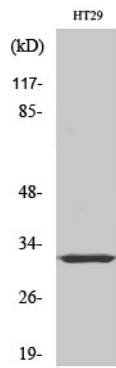
TMEPA 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト前立腺組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



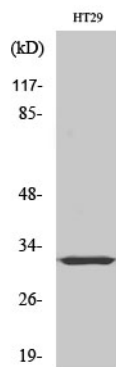
HT-29 細胞ライセートの TMEPA 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーン合成ペプチドでブロックされている。



PMEPA1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



PMEPA1 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



PMEPA1 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して HT29 細胞をウェスタンブロット分析した。